

広報

なぎじん

No. 123

1986年2月

村章

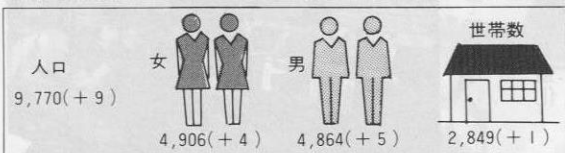
(毎月1日発行)



▲表紙の写真説明

兼次のキャンプ場の裏側にあたる軍艦石の前から、兼次の方をのぞいた。そこには小さいな砂浜が、形のいい石に囲まれて静かな海があった。水底の砂にあたった太陽がチラチラと、まぶしい日でした。

今帰仁村の人口 昭和60年12月31日現在()内は前月比



- 二 第二回今帰仁村社会福祉振興大会
各単位クラブの活動を高めるために
高齢化社会に対応するための
組織づくりと学習活動
子ども会活動の充実を求めて
地域に根ざす青年会活動を
すすめるには、どうあるべきか
七ヶ字で区長が変わりました
ガン、心臓病、脳卒中を
予防しよう
共同作業所入所者募集
成人おめでとう
社会に役立つ人間に
北農定時制特別募集
昭和六〇年分所得税確定申告
村営住宅入居者募集

今月の主な内容

つくりだすおいとやすらぎのある村を——を大会のテーマとして「第二回 今帰仁村社会教育振興大会が、十二月十四日午後一時半から、村コミュニティセンターで開催された。

大会は、村民の一人一人が、日頃の実践と体験をとおして、いろいろな意見を交換しながらみんなで考え、学びあい、住みよい村づくりの場にしようというものです。主催者として、大城教育長は、「生きがいのある人生を送るために、人間が人間らしく、育ち、育てる力を身につけたいものと願っております」と、また松田村長は「単に学校教育にとどまらず、家庭教育、社会教育により日々研鑽に努めることが必要です。押しつけられた社会教育ではなく、地域住民のなかで、生れ、育った教育を行なうため、なにをするべきか」とそれぞれあいさつをしております。

また、村の社会教育の現況報告の後、四分科会に分かれて、討議に移り、今後の社会教育のあり方について、意見をかわしました。

全体会では、各分科会のとめが発表され、また、各護市福祉事務所、家庭相談員の仲栄真盛金先生による「世がわり」と題した記念講演も行なわれました。

やすらぎある村を 社会福祉振興大会



おいとやすらぎある村を 第2回 今帰仁村



第二分科会(婦人会)

高齢化社会に対応するための 組織づくりと学習活動

テーマ

現況

村内において、老人クラブとともに最も充実した活動を続けている婦人会は、地域のあらゆる行事の立役者であり、レク活動、民謡講習会、料理講習会、主張大会等、婦人の資質の向上をめざして、活発な活動をしている。

若い人が少なくなる社会である(平均寿命が伸び出生率は低下) 中年層の参加を期待する。組織活動において、若い人のエネルギーと行動力、中年層の思慮と判断力、そして高年齢層の経験が必要である。

社会に役立つ高齢化、尊敬される年よりになる為にも組織をとおし、それぞれの地域問題解決のために女性だけでなく、男性もまきこんだ活動を展開していきたい。

- ▼助言者—玉城スエ
 - ▼参加者—二十六人
 - ▼発表者—嘉陽ルリ子(湧川)
- 高齢化社会とは、お年寄が多くなるということではない。

▼討議(参加者の意見)
※婦人会の人集めに苦慮している。又公民館の使用が自由に使用できない。

第一分科会(高齢者)

各単位クラブの活動を 高めるために!!

テーマ

現況

老人クラブは、生涯教育を地で行っている感で、高齢者教室、北山大学、ミヤークニ研究会等の活動はもろろん。レクリエーション活動、ゲートボール大会、スポーツ大会等の参加等顕著な活動を続けている。

十八年結成以来十二年、現在九十六歳を先頭に七十名のクラブ員が年五回、慰霊塔、公民館、ゲートボール場、道路等の草刈作業を行なっている。

最近では、ゲートボールが盛んになったため、遊戯の練習がおろそかになる傾向にあり、この方向にも積極的に参加していきたい。

- ▼助言者—運天政宏
- ▼参加者—五十八人
- ▼発表者—上間政春(今泊)

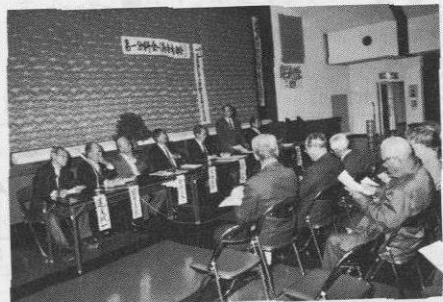
今泊老人クラブでは、本部町具志堅、浦添市内間、名護市大南の各村外老人クラブとの交流会を実施した。

また、昭和五十九年の年間事業計画の中で、開西今泊郷友会との交流会を決定し(四泊五日の見学旅行を兼ねる)五十九年六月から、六十年四月まで毎月積立を実施、資金づくりを行ない、六十年五月十九日から、二十三日まで、四十三人の交流団を結成し、成功させた。

- ▼発表者—国吉真栄(仲尾次)
- 仲尾次老人クラブは、昭和四

また、常に婦人会や青少年等の他団体との連携を保ち、老人ホーム等の施設訪問も事業計画にある。

▼指導・助言
世界中で一番よい日本、日本中でも一番住みよい沖縄、その



沖繩の中でも今帰仁はよい処だ、私に言わせると、今帰仁の中でもクンチャーが一番よい。みんな、それぞれの地域で、地域の特性を生かして、生活を楽しんでいる。

- ① これからの人は、生涯教育を忘れてはいけない。
- ② 他団体への指導・助言をどうし

③ 諸々の社会教育施設を効率的に利用しよう。
「年寄と子どもを大切にす社会」は理想的な社会である。お互いそれを目指して頑張ろう。

新しい婦人会会員は、敬老会の余興を通し、その後の会活動にも参加してもらっている。
※村婦人会の美化コンクールに参加のため「花園づくり」をとおして、字内の他団体とも交流できた。会活動が楽しく参加できるようにした。

※定例会に、協議事項だけでなく、レクリエーションを取り入れることにより、参加人数が多くなってきた。又、二十、四十代と五十、六十代と会が分裂している。

▼指導・助言
子育ての時期
① 三層活動
自分を見直す時期
人生を楽しむ時期
それぞれの時期に適した活動を考えねばならない。

- ② 家庭の雰囲気作りを考える。家庭の和がとれると、会に出やすくなる。
 - ③ 日常生活を合理化して、時間を作り、参加しやすくする。
- 青年会活動—母親の心で青年たちを見守り、婦人会との連携をとり、育てていきたい。



テーマ

第三分科会 (子ども会)

子ども会活動の充実を求めて

現況

昭和五七年に結成された本村の子ども会は、現在は十八字に結成され、会活動の推進、強化を図り、諸活動を実施し、かなりの成果をあげている。

具体的には、少年の主張大会、リーダー研修、山口県少年の船との交流会等である。

今後の課題として、ジュニアリーダーの育成と、村ジュニアリーダー連絡協議会の結成が急務である。

▼助言者―山内昌雄

▼参加者―二十二名

▼発表者―名城政健(今泊)



今泊子ども会は、昭和五十七年に結成され、子ども会役員はジュニアリーダーとして、子ども会にたずさわっている。

又、子ども会が計画、実践している行事は、体力づくり宇内駅伝大会、盆踊り、キャンプ、母の日の行事、奉仕活動等、たくさんの行事が紹介された。

さらに、今泊のこれからの課題として、地域

全体の理解、育成者の理解と協力、会の自主活動、指導者の確保を今後の課題としている。

▼討議(参加者の意見)

※母の日の活動で、作文や絵を画いているが、学校から、このような行事に指示があるか。

※一部の父兄より、子ども会

必要なしとする意見もあるが、地域的に活動方法はちがっても子ども会活動は、ぜひ必要である。皆で協力してやらなければならぬ。

※育成者の会が少ない、役員や子ども達だけでやるのではなく、育成者の会をもっと多くしたら、育成者の理解も、深まるのではないか。

※ジュニアリーダーの参加については、部活動との関連があるので、学校の先生の理解が必要である。

※今泊の会では育成会長の集まりが少ない。育成会長の教育、指導が先決問題ではないか。

▼指導・助言

今泊子ども会では、育成者と子ども会が、マイクロボスを利用し、交流会をもっている。これは、非常によいことである。

またPTA会があるので子ども会はいいのではないか……との考えについて、PTAは学校活動であり、子ども会は地域活動であるとの考えから、会に対して理解と協力をしてほしい。

第四分科会(青年会)

地域に根ざす青年会

活動をすすめるには

どうあるべきか

現況

「地域に根ざした青年会活動をすすめるにはどうあるべきか」とサブテーマを上げて、各分科会でも検討することになっているように、本村青年会は、やや低迷している現状であり、その解決策が望まれている。

く、三ヶ字で青年会が無いところがある。村の青年会を開催しても、各字青年会長の集りが悪くなってきている。

青年の趣味が多様化し、全体的に青年団活動をする人が少なくなってきた。

▼討議(参加者の意見)

※リーダーがおれば、協力をお願いします。今後は自己研修、奉仕の精神がなければ、会活動はできないのではないか、全体的に考えていく必要がある。

▼助言者―城間紀克

▼参加者―十五人

▼発表者―大城隆徳(勢理客)

従来、体育行事は参加も多く盛況であったが、今年は球技大会、駅伝大会でも参加チームが少なくなっている。

各字単位の青年会の組織が弱

▼青年会活動について 各字青年会活動を活発にするのが先決であり、そのことが、村青年会活動を活発にすることにつながると思う、字子ども会活動にも、積極的に参加、協力をしてもらいたい。

※趣味の多様化で会員集めが、困難な事は理解できるが、その



前に会員が何をやりたのかをさぐる必要がある。本来の活動から離れても、会としてのまとまりを作ることが先決ではないか。

※村内の各種団体も多くなっている。農業青年会との交流も必要ではないか、集まりには女性の参加も重要であると思う。

※行事が多すぎる、社会参加の中で、青年の役割は何であるか。青年自からのイベントがほしい。

※部落の環境整備事業にも青年、老人が共に活動したらよいのがよいのではないか。

※趣味が多様化しているのなら、

趣味の展覧会、公民館議座などを活用してみたい。結局集まれは何かできると思う。

▼指導・助言

部落行事に青年を参加させ、存在感を与えてもらいたい。各地域の青年会を村民全体の問題として考え、青年団として孤立していくのではなく、各サークル(農業青年団、老人会、婦人会、子ども会)との連携をもつて活動をやってもらいたいと思います。

青少年健全育成に果す青年会の果たす役割は多い。

七ヶ字で

区長が変わりました

新年を迎え、七ヶ字で区長さんが変わりました。

兼次から金城幸仁さん(兼次二五六、山城昌眞さん(兼次二五四、電五六一七二一四)、与那嶺では与那嶺春松さんと平良誠保さん(与那嶺一九六、電五六一四六〇〇)、謝名では、国吉宗定さんと大城修さん(謝名五五、電五六一三一〇五)、湧川では、嘉陽宗竹さんと玉城清さん(湧川三二六、電五六一三五七〇)天底、嶺井政勇さんと西平守福

さん(天底一〇二、電五六一四四一七)、渡喜仁は比嘉才三さんと照屋全道さん(渡喜仁四一二、電五六一四〇二九)、上運天では宮里英弘さんと宮城辰夫さん(上運天一四一八、電五六一三九六三)がそれぞれ変わります。

前任の区長さん方には長い間大変ご苦労様でした。また新任の区長に対し、皆様のご協力をお寄せください。



与那嶺区長 平良 誠保



兼次区長 山城 昌眞



謝名区長 大城 修



湧川区長 玉城 清



天底区長 西平 守福



渡喜仁区長 照屋 全道



上運天区長 宮城 辰夫

ガン・心臓病・脳卒中を予防しよう

名護保健所

所長 比嘉政昭

名護保健所

所長 比嘉政昭氏



多くのガンは早期発見すること、ほとんど百パーセントなおすことができます。

しかし、白血病などの血液のガンや、近頃増えつつけている肺ガンのある型のガンは、手術だけでは、十分に治せないものもあります。

定期的に健康診断を受けることも大切ですが、自分が「おかしい」と思ったら、すすんで専門医に受診をする勇氣も大切だと思います。

多くの成人病予防の基本は、昔から言われているように、適度な節制と、楽しい、明るい家庭生活です。楽しい雰囲気のある家庭には、病氣も近づきにくいようです。毎日楽しい会話を子ども達や、隣人と持つように心掛けましょう。

サトウキビの収穫で、忙しい毎日を通しておられることと思いますが、ちょっと気持ちをやすめ、体の事も考えてみましょう。二月一日から七日までは、全国的に成人病予防週間となっております。

ガンから

体を守る

私達の調査で



は、農村であっても、近頃は野菜類、コンブ、ワカメ、ヒジキ等の海藻類の食べ方が少ないと言う結果がでています。

子どもや、若い人達には特に、氣をつけて食べて貰いたいと思います。四十代以上の方々には、その他に、牛乳を一日にコップ一杯位は飲んで欲しいと思います。

タバコは自分の健康を害するだけでなく、家族にも肺ガンや、肺炎などの病氣をひきおこすとされています。タバコの代りに、山原のおいしい空気を胸一杯吸いましょう。

心臓の病気の予防

サトウキビ刈も、音楽を聞きながら、楽しい話をしながら、皆んなでやると疲れが少ないものです。黙々と一生懸命すると、長続きしないものです。忙しい中にも、ゆとりを持ちたいものです。

寒さが厳しいので、仕事中はいいのですが、仕事が終わったあとは、汗をふき取り、膚着を取り換え、体を冷さないようにする事は大切な事です。

毎日、一日の終りには、湯ぶねにつかり、疲れを取りましょう。

食べ物は、疲れた時は、消化のいいものを取り、普段は、三食、しっかり食べるようにしましょう。肥る事が心配な人は、魚と野菜をよく利用するようにしましょう。

肺の働きや、心臓の働きの悪い人は、皆んなより疲れが早く来るか、息切れや、動悸がおこりやすいのですが、元気な人でも、突然狭心症の発作をおこす人もいますので、毎年心電図、胸部レントゲン、血圧測定、血液のコレストロールの検査をうけて、異常を早く発見して予防

脳卒中の予防

しましょう。

一月、二月は寒さも厳しいし、昔は食べ物も、塩つけなどの保存食が中心となり、血圧が高くなり、脳の血管が破れて、脳内出血をおこしたり、長年の高血圧症や、動脈硬化が原因で脳の血管がつまり、半身不随や、言語障害をひきおこしたり、死亡した者が多かった。

現在でも、脳卒中は怖い病氣であるが、日頃から血圧の高い人は、主治医の先生を決め、日常生活の指導をうけておく事が大切である。

農繁期に大切な事は、疲れをためない事である。一日の仕事の中でも、休み時間を充分に取り、天気の良い日は、体を休めるようにしたいものである。

高血圧症の方の半数は、自覚症状がありません。畑の合い間に、休みながら、診療所や保健婦駐在所を訪ね、健康相談をしましょう。

最近では、塩分は血圧によくないと言う事で、控え目になっている家庭が多いと思いますが、忙しいとつい、缶詰や、加工食品を使う事が多くなりますが、そ

共同作業所入所者募集

募集期間——昭和61年2月1日
～昭和61年3月31日

作業場所——村コミュニティーセンター

作業目的——作業所は、仲間づくりや生活訓練を通して、自立や社会性を身につける事を目的として開設されます。

入所資格——養護学校や義務教育を卒業した児童および在宅の障害者で、働くことを希望する者です。

問合せ：村社会福祉協議会
電話 (56-4742)

共同作業所の 名前を募集しています

村社会福祉協議会では、4月1日開設をめざして、作業所づくりを進めています。

この作業所に、あなたの考えた名前をつけて下さい。

——募集方法——

※官製ハガキに、あなたの①住所、②氏名、③作業所の名前を書いて、下記宛に送って下さい。

応募先：〒905-04

今帰仁村字仲宗根230の2
今帰仁村社会福祉協議会

締切：昭和61年2月28日

※問合せ先：今帰仁村社会福祉協議会
(56-4742)



これらの食品には、多量の食塩が含まれており、知らないうちに血圧をあげている事があります。一日中働きづくめですと、体のあっちこっちが痛く、神経痛や関節痛もおこってきます。夜になると、殊さら痛みは、強くなって、睡眠がよくとれない

いことがあります。入浴の時は、浴槽の中で痛みのある部分、疲れのあるところを、ゆったり、揉みほぐしましょう。痛みが強い時は、迷わず診療所に行き、先生と相談しましょう。

● おわりに ●

成人病は、一朝一夕におこるものではなく、長い生活習慣の中から生ずる慢性の病気です。皆さんの子ども達や孫達に、いい生活習慣をつけさせる事が、その予防の第一歩です。

明るい声で挨拶をする。朝起きて洗面をし、庭を掃く、毎日排便をする。三食をゆったり、味わいながら食べる。友達との楽しい遊びや語らいを持つ、規則正しい生活を心掛ける等々、一見医学と関係ないように思える

事が基本的に大切なのです。その上で、健康診断をきっかけ、医学的知識を活用すれば、成人病は防げると思っています。健康を過信せず、病気を必要以上に恐れず、楽しい生活をおくりましょう。



成人おめでと

社会に役立つ人間に

百花繚乱と言ふ言葉がある。

一月十五日の村コミュニティセンターはまさにそれである。開会の午後二時には、華やかに着飾った若者が会場をうめつくしました。

この日村内で男七三人、女一

〇六人、計一七九人が成人式を向えた(県内では、男六、八〇〇人、女六、四〇〇人、計一、二〇〇人)

〇人)今年の対象者は、昭和四十年一月十六日から、昭和四十二年一月十五日までに生まれた方々です。

この年、県内には佐藤総理が来沖「沖繩の復帰なくして、日本の戦後はおわらない」との名言を残した。

また村内では、



村育英会が設立され、優良な学生が、経済的理由によって、修学が困難な学生に対し育英資金の貸出しを開始し、四十一年には、吉田光正氏が、立法院議員の補欠選挙に当選、玉城では、赤痢患者一六二名が発生した。

村の内外に、激動の時代に生まれた世代と言えらると思えます。ともあれ「成人の日」は、過去一年の間に、満二十歳となつた人を祝福する日として定められ、年中行事として定着しました。まず、松田村長は「社会的に

製糖工場操業開始(六〇〇六一年期) 生産見込みは四一、〇〇〇トン

成人式が行なわれた一月十五日、今年もさとうきびの搬入が始まりました。

北部製糖(農務部)では、今期の生産高をほぼ平年作の四万千屯を見込んで、操業約九十日を目標にしております。

村内のきび作農家では、それぞれ「猫の手も借りたい」季節を向えました。

なお村役場経済課の十月一日現在の「さとうきび生産見込調査」によると、今期の村内の生産予想は、前期の四万二千九百二十五屯より十五屯少ない、四

一人前として認められることは、貴重な権利と義務を与えられることと同時に、一個人として、責任のある行動が期待されます」と激励し、次いで、新城俊雄選管委員長のあいさつ、来賓の祝辞が述べられ、福満裕子さん、(名護)大城カヨさん(崎山)小橋川ますみさん(名護)による手話通訳がございました。

(毎週火曜日には、コミセンにおいて、手話サークルがひらかれています。)

またアトラクションとして、新城美樹子さん(今泊)の舞踊

が披露された。さらに黒島直太先生による、「いい顔のできる人生を」と題した記念講演が行なわれ「皆さんも、いい顔のできる人生を送って下さい」と講演を締めくくりました。

これに応え新成人を代表して、照屋悦子さん(渡喜仁)が謝辞を述べ、「自己の可能性を生かして、できる限りの努力をかさね、平和と郷土を愛し、社会に少しでも役立つ人間になりたいと思います」と決意をのぞかせていました。

万三千三百四十三屯の予想です。

この要因については、夏植お

よび株出の作付面積が減少したことによるものです。



特別募集

北部農林高等学校定時制

「定時制」という高校の制度を知っていますか。

それは、働く社会人のための夜間の学校です。もちろん学習内容も卒業によって得られる資格も全日制と全く同等です。

中学校を卒業して就職している人、高校を何らかの理由で途中でやめた人の中には今からでも勉強したい、高校卒の資格をとりたくして将来の仕事に役立てたいと考えている人も多いのではないのでしょうか。そういう人々のために開かれたのが特別募集の制度です。それは志願者が募集定員（北農定時40名）に満たない場合、満20歳以上の勤労者等に対して、作文および面接の結果と出身中学校長から送付された調査書等で選抜する制度です。

北部農林高校では多くの方々のご応募をお待ちしております。本校では、現在37名（在籍の45.7%）の特制募集生が在学しています。

学年、年齢別にみると次のとおりです。

学年	年齢	20歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	計
1	年	4	3	2	0	9
2	年	3	1	1	0	5
3	年	5	4	1	1	11
4	年	6	4	1	1	12
	計	18	12	5	2	37

※出願資格

勤労者等で満20歳（昭和61年3月31日現在）以上の者

※出願期間

昭和61年2月24日(月)から2月28日(金)まで

※受付時間

午後2時から午後8時まで、ただし受付の最終日は午後3時までです。

※なお申し込みについて詳しくは、北部農林高等学校（電話52-2634）にお問い合わせ下さい。

村営天底、湧川団地 あき家入居候補者の募集

※あき家入居候補者は、明け渡された村営住宅の補充入居を行うためのものです。

※あき家入居候補者の資格の有効期間は1年。
(1年以内にあき家がでない場合は無効)

※募集人員は天底団地2名、湧川団地1名。

詳しくは、村役場総務課、村営住宅の係
電話 (56-2101) へどうぞ。

昭和60年分 所得税の確定申告 納税相談日のお知らせ

日 時 昭和61年2月18日(火曜日)
午前10時～午後4時まで

場 所 今帰仁村中央公民館(講堂)

※納税相談該当者は、もれなく相談を受けられるよう、お知らせいたします。

納税相談 従事人員	}	名護税務署……3人
		市町村役場……2人
		商 工 会……2人

—山野に眠る戦没者の遺骨を、いま一度県民の手で—

1. 趣 旨

これまで我が県民は、終戦直後日々の衣食住にも事欠く状態から幾多の困難を克服し、今日の発展をみるに至った。この繁栄は県民のたゆまざる努力もさることながら、沖縄戦で戦没した20万余の尊い生命の犠牲があったことも忘れてはならない。

終戦以来県民は、戦没者の遺骨収集に努め、320余の慰霊塔を建立し、毎年慰霊祭を執り行ってみ霊を供養し冥福を祈ってきた。しかしながら、今なお埋没壕や山野等に戦没者の遺骨があることを思うとき、誠に忍びがたいものがある。

私たち県民は、昭和62年に本県で開催される海邦国体、かりゆし大会に向けて今一度心を新にして、山野等に眠る遺骨を県民の手で収集し、戦没者のみ霊を弔うこととする。

2. 実施日時 昭和61年2月23日(日) 9:30~16:00

3. 実施期間

主催 沖縄県、関係市町村、(財)沖縄県遺族連合会、(財)沖縄県戦没者慰霊奉賛会

後援 株式会社沖縄タイムス、株式会社琉球新報、NHK沖縄放送局、
琉球放送株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、株式会社ラジオ沖縄
株式会社エフエム沖縄、(財)沖縄県傷痍軍人会

4. 参加申込方法

(1)参加希望者は、村役場厚生課へ氏名、住所、年齢、性別を告げて、直接又は電話等で参加申込みを行って下さい。

5. 収骨予定地 名護市汀間(旧久志村)

6. 当日の集合場所 申し込み者について、直接通知する。

村営住宅入居者募集

今帰仁団地（字平敷12戸） 兼次団地（字兼次6戸）

申込方法

1. 受付期間 昭和61年2月24日から（土曜日午後及び日曜も受付）
昭和61年3月2日午後5時まで（けいたします）

2. 提出する書類

- (1) 村営住宅入居申込書（総務課）
(2) 所得証明書（市町村長発行）

本人、妻、18才以上の同居しようとする親族全員の証明が必要です。

（学生、無職も必要）

3. その他の証明

- (1) 扶養証明（別居含む）（市町村長発行）
(2) 資産証明（市町村長発行）
(3) 住民票謄本（市町村長発行）
(4) 心身及び身体障害者（福祉事務所長発行）
(5) 婚姻の予約者（媒酌予定者、双方の親の証明書）
（様式は指定しない）
(6) 納税証明（村民税）
（国民健康保険税）

各1通

入居者の資格

1. 現に同居し、又は同居しようとする親族（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者、その他の婚姻の予約者を含む）があること。

（注）

- 1 親族とは………6親等内の血族、配偶者、3親等内の姻族。
2 婚姻関係と同様の事情（内縁関係）………扶養証明、住民登録で確認します。
3 婚姻の予約者………入居許可の日までに婚姻届の受理証明を提出できること。

2. 月収額（同居親族の合算した所得）が次に定められた基準であること。

- (1) 入居者、同居親族の過去1年間における所得金額の合計から控除した額を12で除した額が87,000円以下であること。

3. 現に住宅に困窮していることが明らかな者であること。

選考方法

1. 書類審査及び実態調査を行ない、戸数を超える場合は、抽選を行なう。



2月1日
3月4日

村民カレンダー



2/1 土	○健康相談(8:30~12:00、保健婦室)
2 日	
3 月	
4 火	○手話サークル(19:30~21:00、コミセン) ○ことばの教室(8:30~12:00、コミセン)
5 水	○区長会(14:00~役場ホール) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン)
6 木	
7 金	○ことばの教室(8:30~17:00、コミセン)
8 土	○おやつ食実習(13:00~中公料理室) ○健康相談(8:30~12:00、保健婦室)
9 日	○軟式庭球大会(9:00~北山高庭球コート)
10 月	○子豚セリ(13:00~家畜セリ市) ○人権相談(10:00~コミセン)
11 火	○建国記念の日
12 水	○リハビリ(13:00~15:00、コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン)
13 木	
14 金	○ことばの教室(8:30~17:00、コミセン)
15 土	○健康相談(8:30~12:00、保健婦室) ○今帰仁文化祭(9:00~18:00、コミセン、中央公民館)
16 日	○肉用牛セリ(12:00~家畜セリ市) ○今帰仁文化祭(9:00~18:00、コミセン、中央公民館)

17 月	○3歳児健診(13:00~14:00、コミセン)
18 火	○交通事故巡回相談(10:00~15:00、役場ホール) ○納税相談(10:00~16:00、中央公民館講堂) ○手話サークル(19:30~21:00、コミセン) ○ことばの教室(8:30~12:00、コミセン)
19 水	○リハビリ(13:00~15:00、コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン)
20 木	○区長会(14:00~役場ホール)
21 金	○1.5歳健診(13:00~14:00、役場ホール) ○ことばの教室(8:30~17:00、コミセン)
22 土	○妊婦食実習(13:00~中公料理室) ○健康相談(8:30~12:00、保健婦室)
23 日	○戦没者遺骨収集(9:30~名護市汀間) ○少女バスケット(9:00~湧小中校体育館)
24 月	
25 火	○ディケア(13:00~17:00、役場集合) ○手話サークル(19:30~21:00、コミセン) ○ことばの教室(8:30~12:00、コミセン)
26 水	○ことばの教室相談(8:30~12:00、コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン) ○子豚セリ市(13:00~家畜セリ市)
27 木	
28 金	○ことばの教室(8:30~17:00、コミセン)
3/1 土	○健康相談(8:30~12:00、保健婦室)
2 日	○村営住宅入居者募集締切日
3 月	
4 火	○手話サークル(19:30~21:00、コミセン) ○ことばの教室(8:30~12:00、コミセン)

ないのかと思うものです。

■この様に、画一化された子ども達のために、大人達は何をなさねばならないのか、家庭や地域で、まじめに考える時期ではないのかと思うものです。

■「皆んなが持っている」と云うことで、値段の高いメーカー品の運動靴を欲しがり、トレーニングウェアをねだるのでは、その一方、一人だけ枠を越えた行動をすると「ネクラ」「ダサイ」と云うことになり、疎外され「いじめ」の要因になるのでは、と思うのです。

■最近、小学生や中学生の間でよく聞かれる会話に「皆んなやっているよ!!」「皆んな持っているよ!!」と云う言葉がある。ひと頃、テレビで人気のあった某お笑いタレントが「はやらせた、赤信号、皆んなで渡れば、怖くない」式の発想である。

■何時でも、何人かのグループで行動し、洋服まで同じようなものを欲しがらる。一人／＼の持つ特質が失なわれつつあるような気がするのである。

編集後記



最近、小学生や中学生の間でよく聞かれる会話に「皆んなやっているよ!!」「皆んな持っているよ!!」と云う言葉がある。ひと頃、テレビで人気のあった某お笑いタレントが「はやらせた、赤信号、皆んなで渡れば、怖くない」式の発想である。

■何時でも、何人かのグループで行動し、洋服まで同じようなものを欲しがらる。一人／＼の持つ特質が失なわれつつあるような気がするのである。